

校長あいさつ

児童生徒が主役の魅力ある学校づくりの推進

～児童生徒の思いや考えと、全校・学部間・学年間の関わりやつながりを大切にして～

清水 潤

保護者や地域、関係機関の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年度は児童生徒87名、教職員80名でスタートしました。本校は昭和54年4月に南養護学校として創立し、今年度で47年目を迎えます。県南地区特別支援学校の中心校として、今後も誇りと自覚をもって取り組んでいきたいと考えています。

今年度は、学校経営の基本方針を表題のとおり新たに設定しました。

まずは、児童生徒が学校の主役であることを明確にし、児童生徒や保護者、地域の方々と一緒に魅力ある学校をつくっていききたいという考えを示しました。

次に、大切にしたいことを2点示しました。1点目は、学校の主役である児童生徒の思いや考えを大切にすることです。学習や生活の様々な場面の中で、一人一人に応じて、思いや考えを引き出したり、思いや考えをもてるように育んだり、思いや考えをよりよいものにしていく過程に寄り添ったり、伴走者の姿勢で向き合いたいと考えています。

2点目は、本校最大の課題である分離校舎の解決のためにも、全校・学部間・学年間の関わりやつながりを大切にすることです。分離校舎は弱みですが、昨年度初めて行った全校合唱に多くの方々が感動し、全校で取り組むことの意義を強く実感でき、弱みは強みになると感じました。昨年9月に決まった令和14年度予定の平成高等学校への移転も見通しながら、小中高一貫校としての歩みを着実に進めたいと考えています。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。